



学校だより

7月号

横浜市立六つ川台小学校
平成28年6月30日

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>

今の子どもたちに大切にしてほしいこと

学校長 柳澤 潤

登校時の正門は賑やかです。手に虫かごを掲げてくる子どもがいます。「ダンゴムシ、いっぱい捕まえたよ」「バッタとカマキリ、3丁目公園にたくさんいるよ」「モンシロチョウの卵だよ」などと、よく見えるようにして知らせてくれます。正門入ってすぐの1年生のアサガオは、6月中旬に次々と咲き始め、ある朝は一鉢に5個も6個もいっぺんに花を咲かせていることもありました。子どもたちは、水やりに走ります。2年生の一人一鉢の野菜づくりも好調です。大きく曲がったキュウリ、空に向かってとんがっているオクラ、ミニトマトも1個、2個をていねいに収穫します。「ぼくはもう食べたから、校長先生にあげるよ」と、かわいい手のひらを差し出す子も。自分が手をかけている植物や虫たちは、とっておきです。毎朝の小さな変化は、子どもたちの大きな楽しみになっています。

6月22日に、第1回『「まち」とともに歩む学校づくり懇話会』をさせていただきました。懇話会のメンバーは、地域の各町内会長様をはじめ、PTA会長、青少年指導員、スポーツ推進委員、はまっ子チーフの皆様です。今回は、全教室を授業参観していただきました。そのあと、ランチミーティングです。給食のメニューは、麦ごはんのカレーライス。皆さん完食され、とってもおいしいと喜んでくださいました。学校の方針や、運動会での子どもたちの活躍の様子、保護者の皆様からいただいたアンケートの結果を報告させていただいたあと、「今の子どもたちに大切にしてほしいこと」の話題が尽きず、貴重な意見交流ができました。主に、次のようなご意見をちょうだいしました。

- ・授業の子どもたちの様子が見られたことは、とても新鮮。地域の子どもは、小さかった時からずっと見てきている。学習している様子を見ると、感激する。自分の子どものように思っ
て応援している。
- ・子どもの声を聞くと元気になる。子どもからエネルギーをもらっている。
- ・スーパーコンピュータ、人工知能など、技術の進化は加速度的だ。コンピュータに飲まれて
しまう。心がなくなる時代だ。きれいなものをきれいと感じる心を育てたい。
- ・ITはすべてじゃない、SNSは危険性があることを教育現場でも伝える必要がある。
- ・はまっ子では、外部から読み聞かせの先生に来ていただいている。「子どもたちの靴箱の靴
がいつもそろっていることに感心しています」との声がある。ぜひ、知らせたい。
- ・学校にいじめはありますか、いつも気にかけている。六つ川台小学校いじめ防止基本方針を
いかして、引き続き対策に心がけてほしい。
- ・10年先にどうなるか。子どもたちには、教育には、夢がある。

会の最後に懇話会会長は、ご自身の美術の先生から教わったこととして、「絵を描くこと（の技術）は忘れても、絵を描くときに美しいと感じた心、美しいものは美しいと感じる心、それは忘れないでほしい」との言葉を大事にしている、と話されました。重ねて、「美しいと感じてそれを味わうこと。くやしい、悲しいと感じたときに、くやしいとはどういうことか、悲しいとはどういうことかを考えること。味わう、考えるというワンクッションが、今の時代の子どもたちには大切なのではないか。自分なりに考えることを、くせにしてほしい」と話されました。

一対一のかかわりを通して心を育てること。学級、学年の一体感の中で、学校全体の取組として、地域の支えの中で、心を育てること。そして、少し立ち止まって味わう時間、考える時間を大切にしていきたいと思いました。暑くなってきました。皆様どうぞ、体調に充分留意をされてください。今月もどうぞよろしく申し上げます。